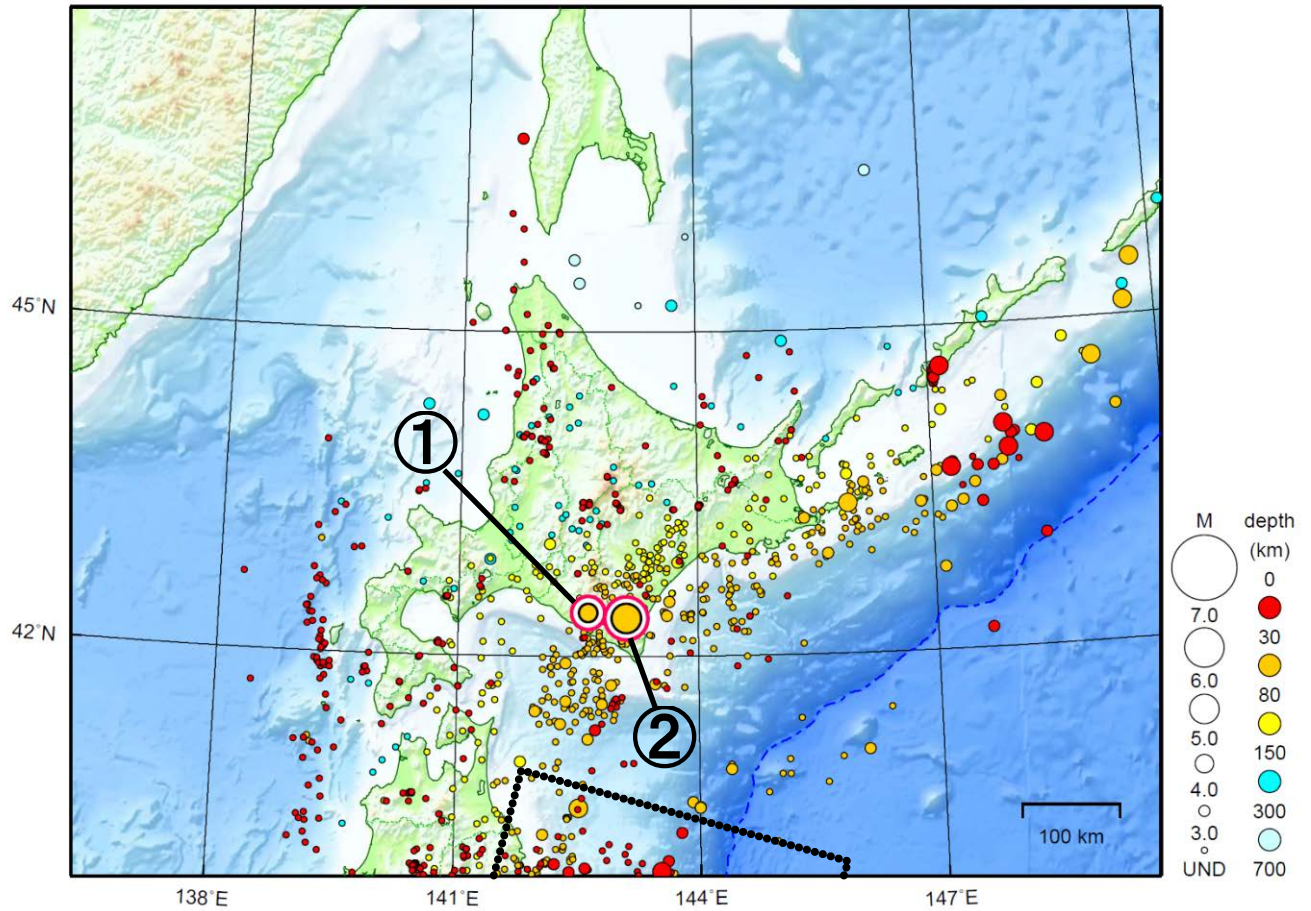


北海道地方

2015/03/01 00:00 ~ 2015/03/31 24:00

N=1073



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

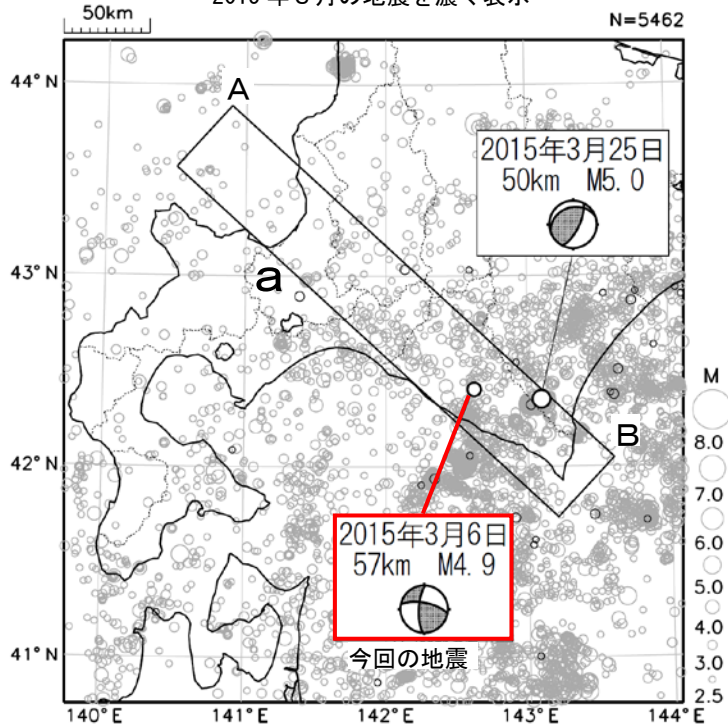
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 3 月 6 日に日高地方中部で M4.9 の地震（最大震度 3）が発生した。
- ② 3 月 25 日に十勝地方南部で M5.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

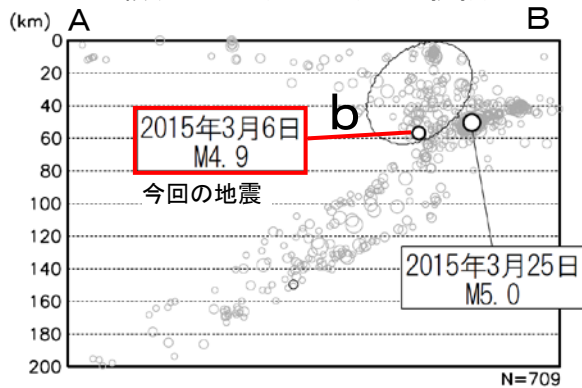
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

3月6日 日高地方中部の地震

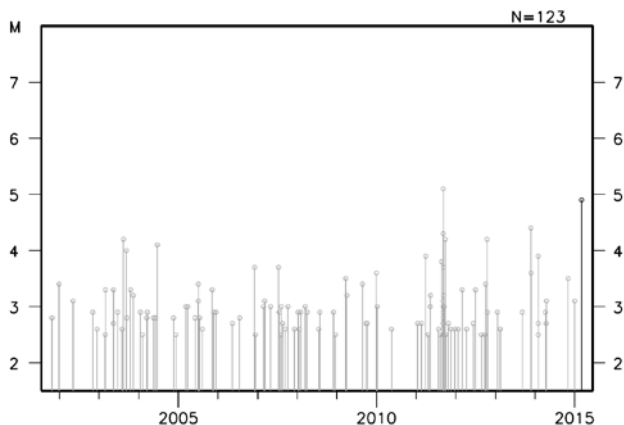
震央分布図
(2001年10月1日～2015年3月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)
2015年3月の地震を濃く表示



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図

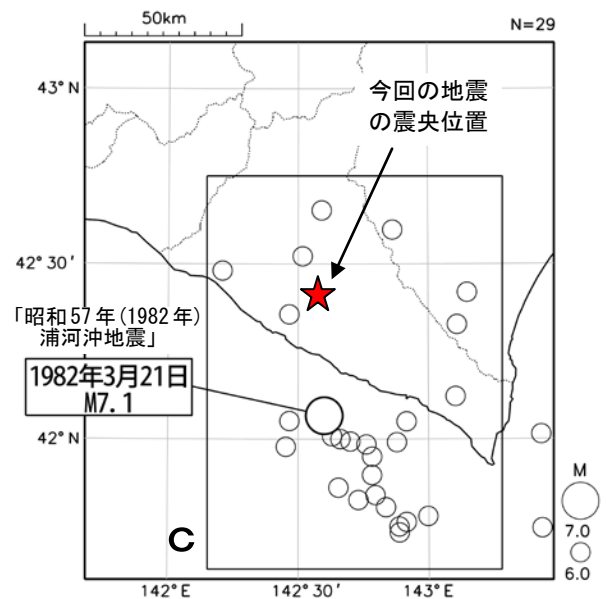


2015年3月6日08時06分に日高地方中部の深さ57kmで $M 4.9$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構が北東-南西方向に圧力軸を持つ型で、陸のプレート内で発生した地震である。

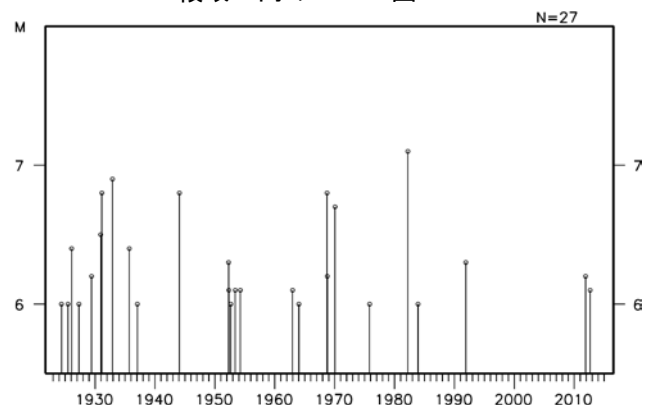
2001年10月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震源周辺(領域b)では、 $M 4.0$ 以上の地震がしばしば発生している。

1923年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 6.0$ 以上の地震がしばしば発生しており、最大は「昭和57年(1982年)浦河沖地震」($M 7.1$ 、最大震度6)が発生し、重軽傷者167名、住家全半壊41棟などの被害を生じた(「昭和57・58年災害記録(北海道、1984)」による)。この地震により、浦河で78cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測した。

震央分布図
(1923年1月1日～2015年3月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

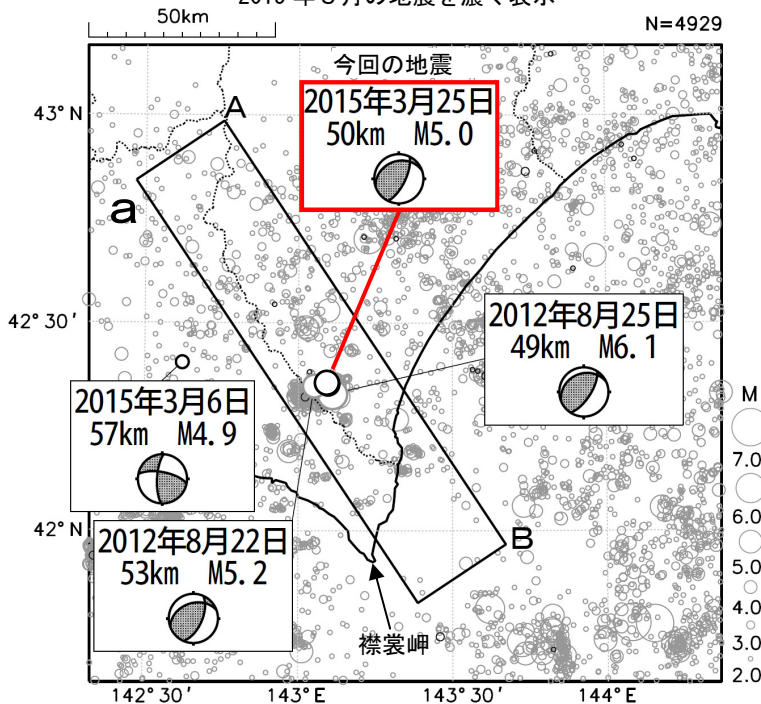


領域c内のM-T図



3月25日 十勝地方南部の地震

震央分布図 (2001年10月1日～2015年3月31日、
深さ30～150km、 $M \geq 2.0$)
2015年3月の地震を濃く表示

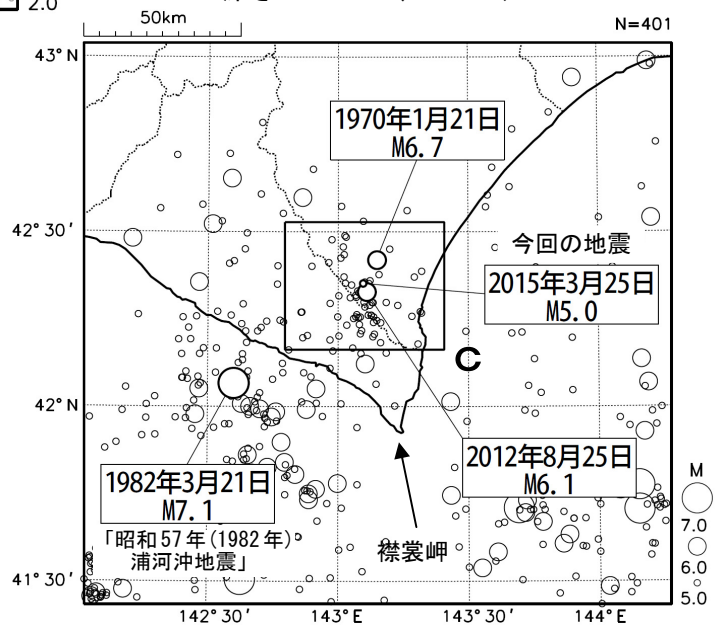


2015年3月25日09時34分に十勝地方南部の深さ50kmで $M 5.0$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

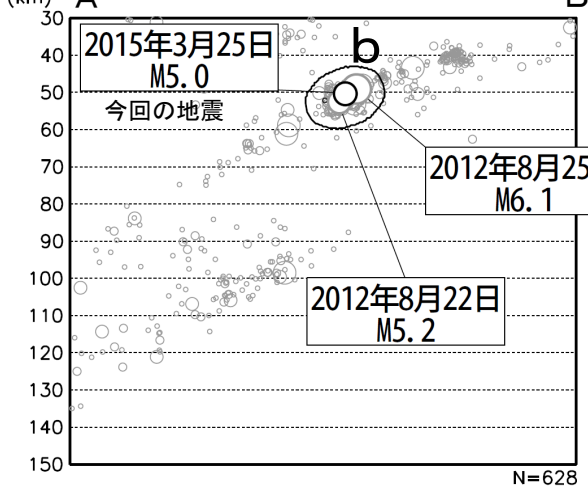
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 4.5$ 以上の地震がしばしば発生している。2012年には8月22日に $M 5.2$ の地震 (最大震度4) が発生し、その3日後の8月25日に $M 6.1$ の地震 (最大震度5弱) が発生した。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1970年1月21日に発生した $M 6.7$ の地震 (最大震度5) により、負傷者32人、住家全壊2棟などの被害が生じている (「日本被害地震総覧」による)。

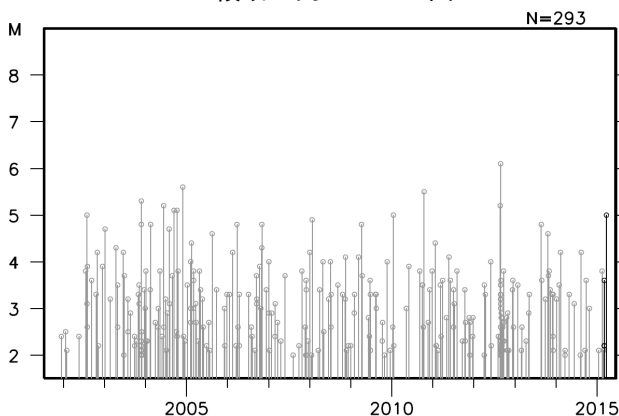
震央分布図
(1923年1月1日～2015年3月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図



領域c内のM-T図

